

# 盛岡市・花蓮市 友好都市提携について

## 1 友好交流について

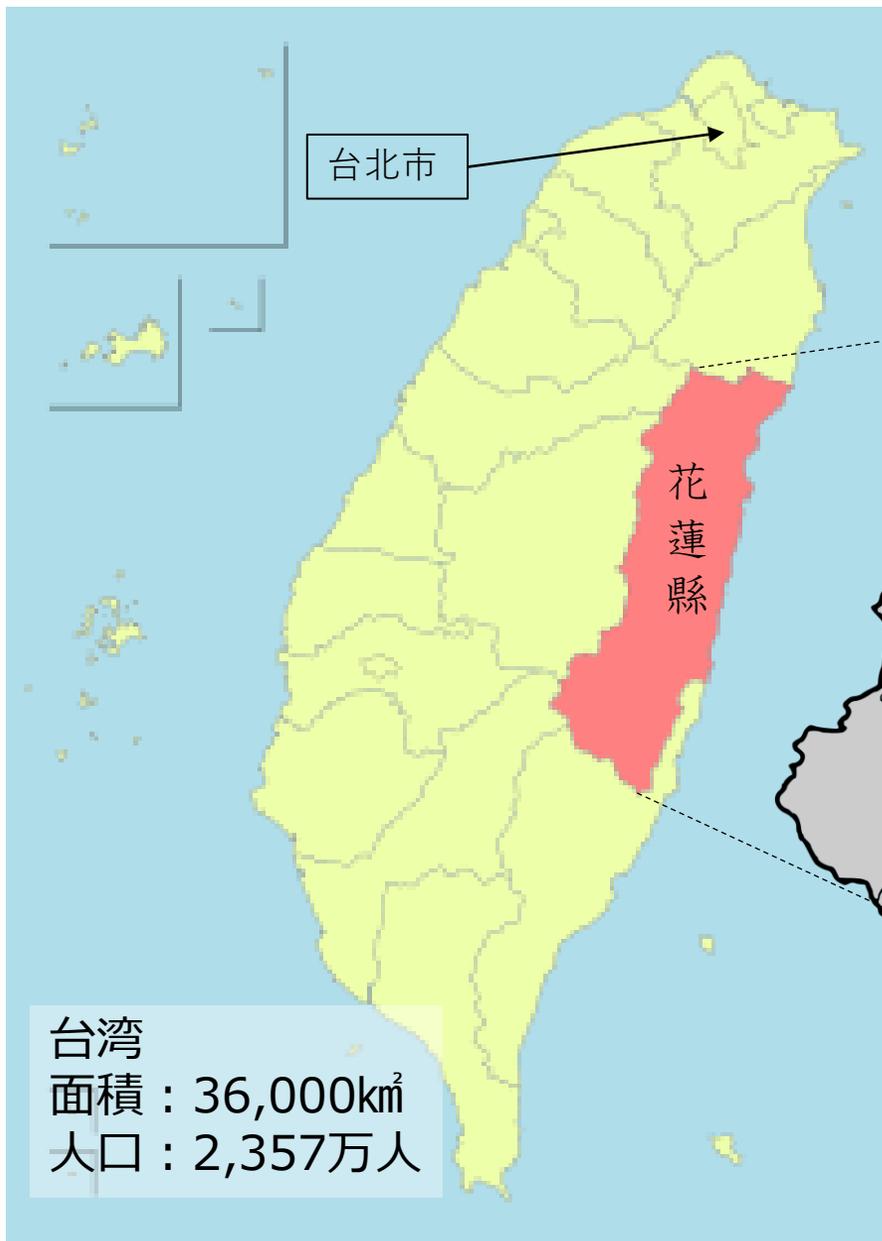
- (1) 台湾・花蓮市とは
- (2) 友好交流の経緯
- (3) 近年の交流, 今後の展望

## 2 記念碑について

- (1) 目的・概要
- (2) コンセプト・基本情報
- (3) 注意点等



# (1) 台湾・花蓮市とは

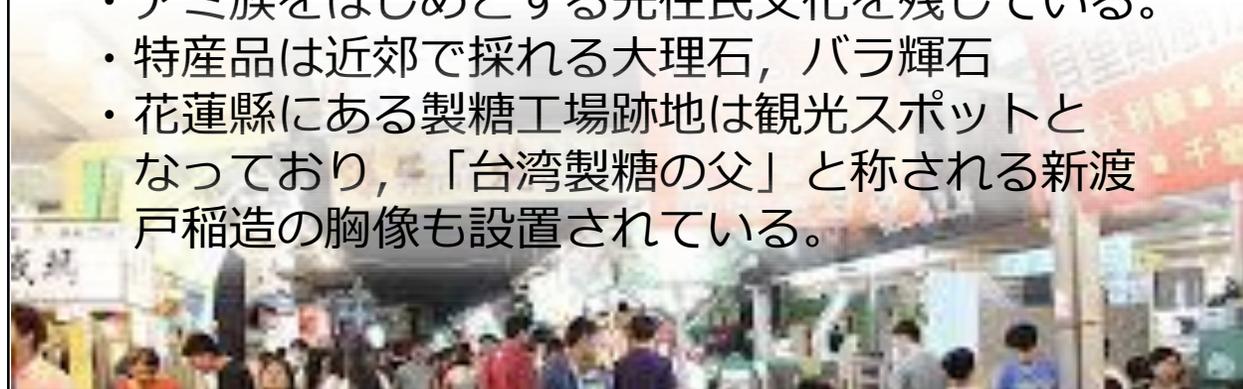


## 花蓮市 (Hualien City)

面積：29,409.5km<sup>2</sup>

人口：106,393人

- 花蓮縣の県庁所在地として行政の中心地
- 真冬でも最低気温は15～16度と温暖で「台湾で一番太陽に照らされるまち」と言われる。
- 周辺は太魯閣溪谷をはじめとする観光スポットが多く花蓮縣全体を通して豊かな自然に恵まれている。
- アミ族をはじめとする先住民文化を残している。
- 特産品は近郊で採れる大理石, バラ輝石
- 花蓮縣にある製糖工場跡地は観光スポットとなっており, 「台湾製糖の父」と称される新渡戸稻造の胸像も設置されている。



## (2) 友好交流の経緯

交流のきっかけは、平成12年（2000年）に、台北国際旅行博に盛岡山車を初出展したこと。  
台湾観光協会の理事 王振銘氏が、展示していた盛岡山車の資料に興味を示し、花蓮豊年祭と盛岡山車との合同祭実現の可能性について打診された。



- 平成13年 2月 花蓮縣長から盛岡市長並びに盛岡山車推進会長あて招聘状が届く。  
9月 台湾観光協会理事の王振銘氏一行4名が盛岡秋まつりの視察のため来盛。  
平成14年 4月 合同祭パレードの企画書が届く。  
11月 盛岡山車を花蓮縣に派遣し、「花蓮観光の日」パレードに参加。盛岡市長ら66名が参加した。

以降、20年以上に渡り、盛岡秋まつりの盛岡山車を中心とした交流が継続している。

## (2) 友好交流の経緯

令和元年11月22日～26日 盛岡市長らによる花蓮訪問

盛岡市長，市議会議長並びに市議会議員団，盛岡山車推進会長，盛岡市消防団長，観光コンベンション協会理事長ほか142名参加。「太平洋温泉花車嘉年華」パレードに盛岡山車及び盛岡さんさ踊り（ミス連15名）が参加。澤目獅子（10名）が同イベントに出演。盛岡広域観光プロモーションの実施。「盛岡りんごフェアin花蓮」を開催。外交部台湾日本関係協会及び交通部観光局（台北市）を表敬訪問。



## (2) 友好交流の経緯

### 令和元年11月24日 友好交流協定締結

#### 盟約書

これまで2002年の盛岡山車派遣・パレード参加を発端に継続した交流が深まっている岩手県盛岡市と花蓮縣花蓮市は、観光、産業、文化などの幅広い分野における交流が促進されることにより、住民相互の理解と友情が一層深められ、永続的な友好が図られることを確信して、ここに友好交流協定を締結することを盟約する。

2019年11月24日

盛岡市長  
谷藤 裕明

花蓮市長  
魏 嘉賢

立会人 花蓮縣長 徐 榛蔚

花蓮市にて



### (3) 近年の交流, 今後の展望

#### 近年の交流 今後の展望

5・7  
月

#### 令和2年5月, 7月 フェイスシールド, 医療用マスクの寄贈

花蓮市から盛岡市に対し, 新型コロナウイルス感染症対策物資として, フェイスシールドやマスク等が寄贈されました。



11  
月

#### 令和2年11月26日 友好都市提携記念碑除幕式

花蓮市に友好都市提携記念碑が建立され, 除幕式にはオンラインで盛岡市も参加しました。



R2  
R3

10  
月

#### 令和3年10月23日 友好都市提携記念碑除幕式 (予定)

本委託業務により, 盛岡市内に友好都市提携記念碑を設置し, 花蓮市長ら訪問団を招聘し除幕式を行う。

#### 【今後の展望】

盛岡秋まつりをきっかけとする友好都市交流が両市民に浸透し, 幅広い分野に拡大するとともに, 人的交流の機会が増大し, 経済交流が活発になることを期待する。

# 記念碑について

写真は令和2年11月26日に除幕された、花蓮市に建立された記念碑。

記念碑の名称は、「兩相好（リヤンシアンハオ）」。日本語で「双方よし」という意味である。

向かい合う盛岡市と花蓮市が抱擁を交わす瞬間を表しており、出会いの喜びを直接的に表現している。記念碑が建立された水牛公園は、花蓮市役所から10分ほどの場所にあり、多くの市民の憩いの場として利用されている。

サイズ

總量體約235x145x195公分



材質：ステンレス



# (1) 目的・概要

---

目的：盛岡市と花蓮市の友好交流の周知，さらなる交流の深化を図る。

記念碑に求めるものは…



興味を引く優れた  
デザインのもの

友好交流の象徴として，  
両市民に喜ばれるもの

花蓮市について  
理解が深まるもの

交流のきっかけと  
なった盛岡秋まつり  
の要素があるもの

後世まで残るよう  
安全性，耐久性に  
優れるもの

## (2) コンセプト・基本情報

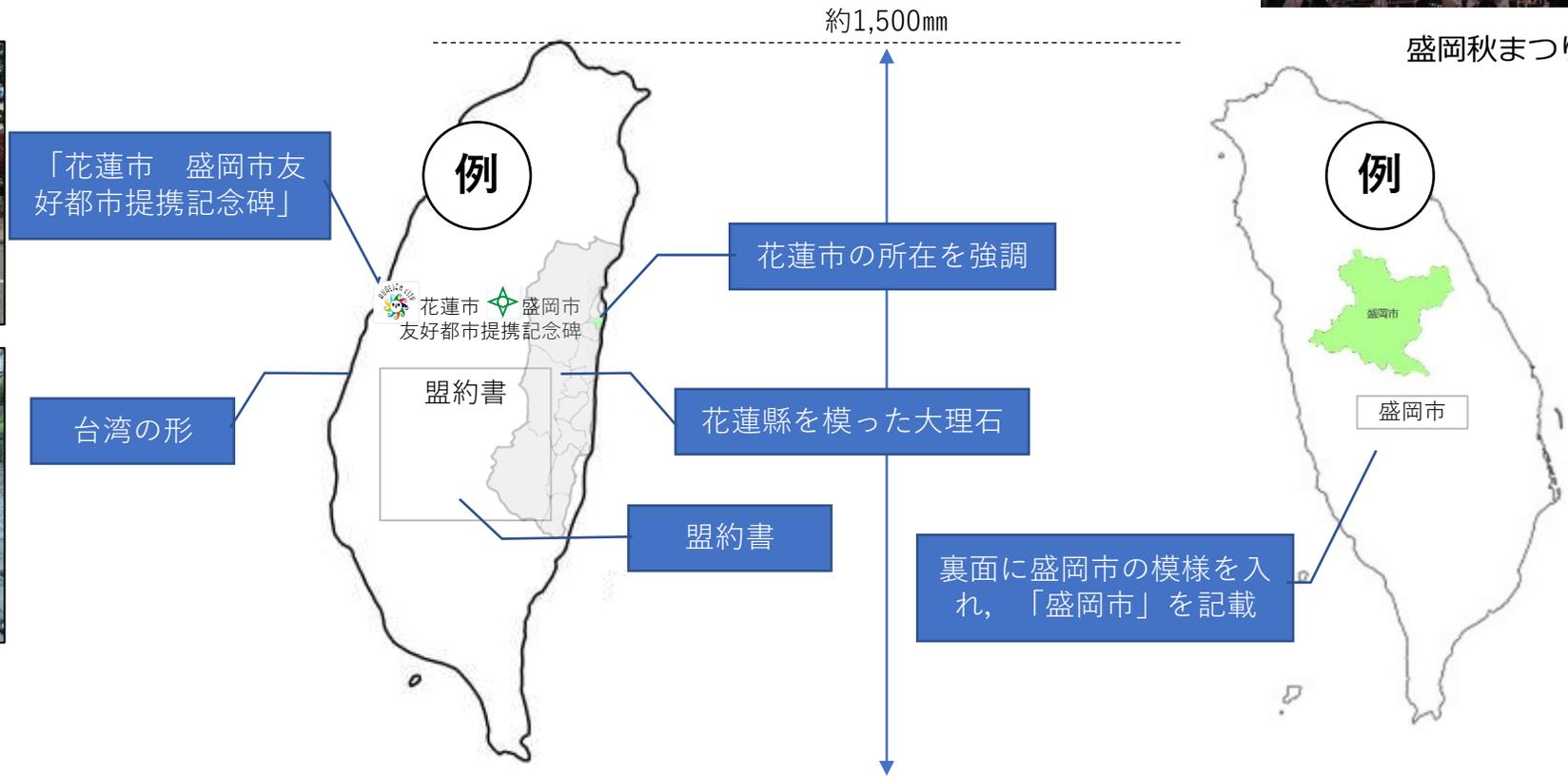
- ・ 記念碑は台湾の形を模したものとし、正面に「花蓮市 盛岡市 友好都市提携記念碑」及び盟約書の内容を記載すること。また、台湾の花蓮縣に該当する箇所は大理石を用いて強調するとともに、花蓮市の所在がわかるようにすること。
- ・ 友好都市提携のきっかけとなった盛岡秋まつりをモチーフとした意匠を加えるなど、花蓮市と盛岡市の友好を象徴するデザインとすること。
- ・ 記念碑の裏面は、盛岡市の形の模様を入れ、「盛岡市」の記載をすること。
- ・ 記念碑（台座等を作る場合は、台座を含む）の全高は概ね1,500mm程度とすること。
- ・ 周囲の景観に配慮したデザイン、色彩とすること。



盛岡秋まつり



設置場所：川と緑と花の広場



### (3) 注意点等

---

#### 【特に注意する事】

- ・参加資格を確認すること。グループによる提案または協力会社がある場合は、「盛岡市内に本社又は営業所を有していること。」については、構成員の一人以上が要件を満たしていればよい。
- ・記念碑の材質の選定にあたっては、選定理由を明らかにし、提案書に記載すること。
- ・必ず事前に現地確認を行うこと。

本業務で設置された記念碑は、後世に長く残るものになります。妥協のないデザインと、メッセージ性を持った提案を期待しております。